平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名　日邦産業株式会社　　上場取引所　大
コード番号　9913　URL　http://www.nip.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役　社長　(氏名) 大塚 眞治
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 笹倉 健一郎　TEL 0587-98-1227

四半期報告書提出予定日　平成23年11月7日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	19,893	△0.4	156	△74.2	83	△83.8	48	△88.0
23年3月期第2四半期	19,974	29.8	607	466.4	515	258.9	403	281.2

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　△101百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　257百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5.44	―
23年3月期第2四半期	45.40	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	20,425	8,554	41.1
23年3月期	19,739	8,790	43.7

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　8,394百万円　23年3月期　8,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	15.00	15.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	0.4	300	△69.1	230	△73.5	160	△77.9	18.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	9,127,338 株	23年3月期	9,127,338 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	240,076 株	23年3月期	240,066 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	8,887,269 株	23年3月期2Q	8,887,391 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。
この説明会で配布した資料は、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。
平成23年11月22日(火)・・・機関投資家、アナリスト向け決算説明会
・上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……4
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……5
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……6
４．四半期連結財務諸表 ……7
（１）四半期連結貸借対照表 ……7
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……9
四半期連結損益計算書 ……9
四半期連結包括利益計算書 ……10
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……11
（４）継続企業の前提に関する注記 ……13
（５）セグメント情報 ……14
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……14
（７）重要な後発事象 ……14

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災に起因したサプライチェーンの途絶、電力制限の影響、歴史的な円高の進行並びに欧米を中心とした海外経済の減速等の影響を受け、先行き不透明な中で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは取引先の復旧及び生産移管を含めた復興計画の把握に努め、効果的な経営資源の再配分と支出の抑制をはじめとする合理化を図り、生産性の向上に努めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は19,893百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は156百万円（前年同期比74.2%減）、経常利益は83百万円（前年同期比83.8%減）、四半期純利益は48百万円（前年同期比88.0%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

モビリティ事業

自動車メーカー及び自動車部品メーカーに対して、電子制御関連部品を核とした樹脂成形品の製造及び販売を国内外で展開しております。

当該事業の業績は、サプライチェーンの途絶及び復旧に起因する自動車メーカー及び自動車部品メーカーの大幅な生産調整と回復の影響の中で推移しました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は4,320百万円（前年同期比16.3%減）、セグメント利益７百万円（前年同期比96.3%減）となりました。

エレクトロニクス事業

コンピュータ及びクリーンエネルギーに関連する市場に対して、ファブレスメーカーまた専門商社として、高機能材料、部品、治具並びに機器等の調達及び販売を国内外で展開しております。

当該事業の業績は、携帯端末向けの高機能材料及び部品が堅調に推移したものの、サプライチェーンの途絶及び復旧に起因する各関連顧客の生産調整による影響と厳しいコストダウン要求の中で推移しました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は6,801百万円（前年同期比7.8%減）、セグメント損失は65百万円（前年同期は73百万円のセグメント利益）となりました。

精密機器事業

ＯＡ、精密機器市場に対して、部品、ユニット品の製造及び販売を国内外で展開しております。

当該事業の業績は、プリンター（インクジェットプリンター及びレーザープリンター）部品は堅調に推移したものの、カメラ部品はサプライチェーンの問題により一時的な生産調整を余儀なくされました。また、海外生産拠点における人件費の高騰も利益に影響を及ぼしました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における当セグメントの売上高4,274百万円（前年同期比12.3%増）、セグメント利益は149百万円（前年同期は55.6%減）となりました。

住宅設備事業

住宅設備機器市場に対して、ファブレスメーカーまた専門商社として、ブラインドのコントロールユニット、樹脂配管部品並びに高機能材料等の調達及び販売を国内外で展開しております。

当該事業の業績は、高効率給湯器部品、復興関連の仮設住宅向け建築資材及び配管部材が引き続き好調に推移しましたが、材料費の高騰等により利益に影響を及ぼしました。

この結果、当第２四半期連結累計期間におけるセグメントの売上高は1,583百万円（前年同期比24.9％増）、セグメント利益は35百万円（前年同期比29.3％減）となりました。

その他

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ＲＦＩＤ事業等を含んでおります。

当第２四半期連結累計期間におけるその他の売上高は3,432百万円（前年同期比19.9％増）、セグメント利益は45百万円（前年同期比447.9％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産及び負債並びに純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて170百万円増加し12,604百万円となりました。これは現金及び預金が449百万円減少したものの受取手形及び売掛金が586百万円増加したことなどが主な要因となっております。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて515百万円増加し7,820百万円となりました。これは、投資有価証券が126百万円減少したものの有形固定資産合計が719百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて685百万円増加し20,425百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,178百万円増加し9,480百万円となりました。これは短期借入金が715百万円増加したことに加え、支払手形及び買掛金が549百万円増加したことなどが主な要因となっております。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて257百万円減少し2,389百万円となりました。これは長期借入金が242百万円減少したことなどが主な要因となっております。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて921百万円増加し11,870百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて235百万円減少し8,554百万円となりました。これは為替換算調整勘定及びその他有価証券評価差額金が減少したことに伴いその他包括利益累計額が151百万円減少したことに加え、株主資本では利益剰余金が84百万円減少したことなどが主な要因となっております。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末より2.6ポイント減少の41.1％となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて434百万円の減少となり3,076百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、360百万円の資金の増加（前年同四半期は567百万円の増加）となりました。売上債権が増加したことにより625百万円の減少要因があったものの、仕入債務587百万円及び減価償却費338百万円の増加があったことなどが主な要因となっております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、928百万円の資金の減少（前年同四半期は1,117百万円の資金の減少）となりました。これは有形固定資産の取得による支出により972百万円減少したことなどが主な要因となっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、142百万円の資金の増加（前年同四半期は1,961百万円の資金の減少）となりました。これは長期借入金の返済による支出により467百万円減少したものの、短期借入金の純増減額により734百万円増加したことなどが主な要因となっております。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、円為替相場の高止まりの問題、ユーロ圏における金融不安の問題に加え、タイ王国における洪水災害等により先行き不透明な中で推移するものと思われます。

このような状況の中、平成24年３月期の第２四半期連結累計期間の連結業績予想を為替相場の円高進行を理由に修正するとともに、当社グループは直接的な被害は受けていないものの平成24年３月期の通期連結業績予想をタイ王国における洪水により取引先の多くが被害を受けていること並びに第２四半期連結累計期間の業績動向を勘案して修正しております。

詳細は、平成23年11月７日に公表の「業績予想修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,582,791	3,133,749
受取手形及び売掛金	7,319,046	7,905,729
商品及び製品	662,591	733,584
仕掛品	150,070	150,421
原材料及び貯蔵品	365,408	333,161
繰延税金資産	122,851	122,446
未収入金	145,117	134,744
その他	89,088	94,191
貸倒引当金	△2,542	△3,383
流動資産合計	12,434,423	12,604,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,439,829	4,426,849
減価償却累計額	△1,820,795	△1,909,176
建物及び構築物（純額）	2,619,033	2,517,672
機械装置及び運搬具	4,475,127	4,510,805
減価償却累計額	△3,527,834	△3,247,801
機械装置及び運搬具（純額）	947,293	1,263,003
工具、器具及び備品	651,478	520,755
減価償却累計額	△513,402	△397,521
工具、器具及び備品（純額）	138,075	123,234
土地	587,636	580,736
建設仮勘定	112,967	639,794
有形固定資産合計	4,405,006	5,124,441
無形固定資産	181,165	196,038
投資その他の資産		
投資有価証券	1,166,110	1,040,070
繰延税金資産	82,030	131,633
その他	1,521,988	1,382,711
貸倒引当金	△51,697	△54,520
投資その他の資産合計	2,718,431	2,499,894
固定資産合計	7,304,604	7,820,374
資産合計	19,739,027	20,425,019

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,736,301	6,285,893
短期借入金	318,477	1,033,600
1年内返済予定の長期借入金	846,096	715,976
1年内償還予定の社債	130,000	130,000
未払法人税等	51,500	31,540
賞与引当金	202,345	217,745
その他	1,017,194	1,065,657
流動負債合計	8,301,916	9,480,413
固定負債		
社債	290,000	225,000
長期借入金	1,377,445	1,135,137
繰延税金負債	45,296	43,719
再評価に係る繰延税金負債	5,300	5,300
退職給付引当金	610,300	671,846
環境対策引当金	10,502	10,502
資産除去債務	52,159	50,834
負ののれん	23,717	19,828
その他	232,357	227,483
固定負債合計	2,647,080	2,389,653
負債合計	10,948,996	11,870,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,137,754	3,137,754
資本剰余金	2,343,068	2,343,068
利益剰余金	4,177,024	4,092,055
自己株式	△155,213	△155,217
株主資本合計	9,502,633	9,417,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,615	22,967
土地再評価差額金	6,789	6,789
為替換算調整勘定	△975,327	△1,052,907
その他の包括利益累計額合計	△871,922	△1,023,150
新株予約権	36,235	36,235
少数株主持分	123,084	124,207
純資産合計	8,790,031	8,554,952
負債純資産合計	19,739,027	20,425,019

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	19,974,326	19,893,025
売上原価	17,268,013	17,558,752
売上総利益	2,706,313	2,334,273
販売費及び一般管理費	2,098,411	2,177,365
営業利益	607,902	156,907
営業外収益		
受取利息	7,349	7,151
受取配当金	6,628	6,254
仕入割引	13,526	10,727
スクラップ売却益	15,067	16,317
その他	13,057	31,768
営業外収益合計	55,630	72,220
営業外費用		
支払利息	68,844	50,004
為替差損	73,988	88,278
その他	4,844	7,120
営業外費用合計	147,677	145,403
経常利益	515,855	83,723
特別利益		
固定資産売却益	537	11,307
投資有価証券売却益	－	1,166
新株予約権戻入益	164	－
貸倒引当金戻入額	1,261	－
特別利益合計	1,963	12,474
特別損失		
固定資産処分損	530	2,862
投資有価証券評価損	－	1,556
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	25,689	－
特別損失合計	26,219	4,418
税金等調整前四半期純利益	491,599	91,779
法人税、住民税及び事業税	75,109	50,161
法人税等調整額	6,015	△8,964
法人税等合計	81,124	41,196
少数株主損益調整前四半期純利益	410,474	50,582
少数株主利益	7,024	2,241
四半期純利益	403,450	48,340

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	410,474	50,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82,426	△73,647
為替換算調整勘定	△70,149	△78,699
その他の包括利益合計	△152,576	△152,347
四半期包括利益	257,897	△101,764
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	251,296	△102,887
少数株主に係る四半期包括利益	6,601	1,122

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	491,599	91,779
減価償却費	380,739	338,036
貸倒引当金の増減額（△は減少）	108	3,663
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△39,560	63,662
受取利息及び受取配当金	△13,978	△13,406
支払利息	68,844	50,004
為替差損益（△は益）	1,838	161
有形固定資産処分損益（△は益）	△7	△8,444
売上債権の増減額（△は増加）	△572,278	△625,898
たな卸資産の増減額（△は増加）	△155,941	△52,109
仕入債務の増減額（△は減少）	398,887	587,139
差入保証金の増減額（△は増加）	－	137,855
その他の流動資産の増減額（△は増加）	26,877	△3,546
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△13,766	△129,675
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	25,689	－
その他	85,141	21,080
小計	684,194	460,302
利息及び配当金の受取額	13,830	13,328
利息の支払額	△54,883	△43,325
法人税等の支払額	△75,789	△69,680
営業活動によるキャッシュ・フロー	567,352	360,625
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△201,899	△1,277
定期預金の払戻による収入	1,846	15,748
有形固定資産の取得による支出	△477,110	△972,849
有形固定資産の売却による収入	14,349	70,725
無形固定資産の取得による支出	△40,813	△18,808
長期前払費用の取得による支出	－	△4,119
投資有価証券の取得による支出	△407,784	△1,778
投資有価証券の売却による収入	－	2,423
貸付けによる支出	△6,350	△2,112
貸付金の回収による収入	3,536	3,439
その他の支出	△4,919	△22,460
その他の収入	1,554	2,360
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,117,590	△928,708

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,256,000	734,666
長期借入れによる収入	－	100,000
長期借入金の返済による支出	△437,841	△467,703
社債の償還による支出	△75,000	△65,000
リース債務の返済による支出	△59,557	△26,617
自己株式の取得による支出	△36	△4
配当金の支払額	△132,874	△133,152
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,961,309	142,188
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,620	△8,580
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,527,167	△434,474
現金及び現金同等物の期首残高	6,870,479	3,511,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,343,312	3,076,548

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第２四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日)

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	モビリティ	エレクトロニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	5,017,627	7,376,634	3,459,611	1,267,732	17,121,606	2,852,720	19,974,326	―	19,974,326
セグメント間の内部売上高又は振替高	142,174	286	346,899	―	489,361	9,225	498,586	△498,586	―
計	5,159,802	7,376,921	3,806,511	1,267,732	17,610,967	2,861,945	20,472,913	△498,586	19,974,326
セグメント利益	198,610	73,876	336,488	49,677	658,653	8,353	667,006	△59,104	607,902

（注）１.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ＲＦＩＤ事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△59,104千円は、営業外取引の調整額△48,672千円、棚卸資産の調整額△4,605千円、固定資産売却の調整額△6,167千円及び貸倒引当金の調整額341千円であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	モビリティ	エレクトロニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,166,116	6,801,449	3,918,583	1,583,060	16,469,210	3,423,814	19,893,025	―	19,893,025
セグメント間の内部売上高又は振替高	154,325	―	355,426	―	509,752	8,900	518,652	△518,652	―
計	4,320,441	6,801,449	4,274,010	1,583,060	16,978,962	3,432,714	20,411,677	△518,652	19,893,025
セグメント利益又はセグメント損失(△)	7,386	△65,533	149,414	35,133	126,400	45,770	172,171	△15,263	156,907

（注）１.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ＲＦＩＤ事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△15,263千円は、営業外取引の調整額△13,646千円、棚卸資産の調整額4,690千円、固定資産売却の調整額△5,824千円及び貸倒引当金の調整額△483千円であります。

３．セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。